

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2022年1月30日朝刊中部版

焼津産イグサを ブランドに 都内畳メーカー 取り組み6年目

焼津市田尻北地区で耕作放棄地をイグサの産地に再生する取り組みがこし、6年目を迎えた。都内の畳メーカーが地元農家と協力しながら、製品化可能な収穫量の確保を図る。今後、社員の増強を進め、量を着実に増やすことで、国内有力産地の熊本県に続く地域ブランド化を目指す。

畳の総合メーカー「キツタカ」(東京都)が2017年1月に耕作放棄地で生産を開始した。かつては水稲栽培が展開されていたが、度重なる塩害の発生や排水不良で耕作されない状態が長年続いていた。生産品種は水稲に比べて塩害に強いときれるイグサを導入した。

耕作放棄地を再生、収穫増へ

で製品化した畳表は焼津神社に奉納した。収穫したイグサのうち、畳などに製品化可能な量は10%から20%ほど。橋高太聡専務は「5年後までには100%を示した。」(焼津支局・福田雄一)



イグサの農地を点検するキツタカ社員
|| 焼津市田尻北

- ①「イグサ」の茎(くき)を使って作られるものは何ですか。(**畳表、ゴザなど**)
- ②「イグサ」の生産がさかんな県はどこですか。(**熊本**)県
- ③記事の地域の農地が「耕作放棄地」となった理由を30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例)

度	重	な	る	塩	害	の	発	生	や	排	水	不	良	で
耕	作	さ	れ	な	い	状	態	が	続	い	た	た	め	。

- ④水稲と比較した「イグサの特徴」を書きましょう。
(**(例)水稲に比べて塩害に強い。**

年 組 名前)